

**教育委員会の事務の管理及び  
執行状況に関する点検・評価報告書  
(平成27年度対象)**

**平成28年9月  
新潟市教育委員会**

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民への説明責任を果たしていくために、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）第26条の規定に基づき平成27年度の教育委員会の事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果をまとめたものです。

## — 目次 —

I	教育委員会の活動状況について	
1	教育委員会会議の開催状況	1
2	教育委員会会議以外の活動状況	3
3	平成27年度の主な取組と成果	6
II	新潟市教育ビジョンの施策評価について	
1	平成27年度施策評価一覧	9
2	主な施策・事業の評価状況	10
3	教育ビジョン推進委員からの主な意見・要望と教育委員会の対応	17

### 【参考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

# I 教育委員会の活動状況について

## 1 教育委員会会議の開催状況

### ○新潟市教育委員会定例会・臨時会

- |        |        |  |
|--------|--------|--|
| 4月定例会  | 議案第1号  | 阿賀小学校と満日小学校の統合について   |
|        | 議案第2号  | 平成28年度使用新潟市立小学校用教科用図書採択に関する基本方針について<br>平成28年度使用新潟市立中学校用教科用図書採択に関する基本方針について<br>平成28年度使用新潟市立特別支援学校用教科用図書採択に関する基本方針について |
|        | 議案第3号  | 平成28年度使用新潟市立高志中等教育学校前期課程用教科用図書採択に関する基本方針について   |
|        | 議案第4号  | 平成28年度使用新潟市立高等学校用教科用図書採択に関する基本方針について   |
|        | 議案第5号  | 平成28年度使用新潟市立高志中等教育学校後期課程用教科用図書採択に関する基本方針について   |
|        | 議案第6号  | 教職員の人事措置について   |
| 5月臨時会  | —      | 報告案件のみ   |
| 5月定例会  | 議案第7号  | 平成27年6月議会定例会の議案について  |
| 6月定例会  | —      | 報告案件のみ   |
| 7月定例会  | 議案第8号  | 市立小学校長の人事について  |
|        | 議案第9号  | 平成28年度使用新潟市立小学校用教科用図書の採択について   |
|        | 議案第10号 | 平成28年度使用新潟市立中学校用教科用図書並びに新潟市立特別支援学校・学級用一般図書の採択について  |
|        | 議案第11号 | 平成28年度使用新潟市立高志中等教育学校前期課程用教科用図書の採択について  |
| 8月定例会  | 議案第12号 | 職員の人事措置について  |
|        | 議案第13号 | 教育委員会の事務の管理及び執行状況に関する点検・評価の議会報告について  |
|        | 議案第14号 | 平成28年度使用新潟市立特別支援学校・学級用一般図書の採択に係る教育長代理について  |
|        | 議案第15号 | 平成28年度使用新潟市立高等学校用教科用図書採択について   |
|        | 議案第16号 | 平成28年度使用新潟市立高志中等教育学校後期課程用教科用図書採択について   |
| 9月定例会  | —      | 報告案件のみ   |
| 10月定例会 | —      | 報告案件のみ   |
| 11月定例会 | 議案第17号 | 葛塚東小学校と太田小学校の統合について  |
|        | 議案第18号 | 平成27年12月議会定例会の議案について   |
| 12月臨時会 | 議案第19号 | 市立小学校長の人事について  |
| 12月定例会 | 議案第20号 | 新設統合校の通学区域について   |
|        | 議案第21号 | 通学区域の一部変更について  |
|        | 議案第22号 | 岩室学校給食センターと巻学校給食センターの統合について  |
|        | 議案第23号 | 教職員の人事措置について   |
| 1月定例会  | —      | 報告案件のみ   |
| 2月定例会  | 議案第24号 | 平成28年2月議会定例会の議案について  |
|        | 議案第25号 | 市立小・中・特別支援学校・幼稚園の校園長の人事について  |

- 2月 臨時会 議案第26号 市立高等学校校長の人事について  
 議案第27号 教職員の人事措置について  
 議案第28号 教職員の人事措置について
- 3月 定例会 議案第29号 新潟市教育委員会組織規則の一部改正について  
 議案第30号 新潟市教育長に対する事務の委任等に関する規則の一部改正について  
 議案第31号 新潟市立学校管理運営に関する規則の一部改正について  
 議案第32号 新潟市長から委任を受けた新潟市生涯学習センターの管理に関する規則の一部改正について  
 議案第33号 新潟市白根学習館条例施行規則に関する規則の一部改正について  
 議案第34号 新潟市西川学習館条例施行規則に関する規則の一部改正について  
 議案第35号 事務局及び機関の長の人事について  
 議案第36号 教育財産の用途廃止について  
 議案第37号 教育財産の用途廃止について  
 議案第38号 市立高等学校等の人事管理について  
 議案第39号 第2期新潟市いじめ防止対策等専門委員会委員の委嘱について

### ○教育委員会会議の公開等に関すること

- ・会議について 原則公開（人事案件等非公開の場合あり）
- ・開催案内について ホームページ・市報にいがた等に掲載
- ・会議案件について ホームページで案件名を事前に公開
- ・会議録について 会議終了後、会議速報をホームページに掲載  
 会議録作成後、速やかに、ホームページに掲載及び市政情報案内室において公開
- ・傍聴の平均人数 3.93人

- ・地教行法等に基づき、新潟市では毎月、教育委員会定例会及び必要に応じて臨時会を開催しており、平成27年度は15回の会議（定例会12回、臨時会3回）を開催しました。  
 （付議事件39件、報告案件30件）
- ・重要な案件については、教育委員会定例会の付議事件とする前に協議会の場において事前協議を行い、十分な検討を重ねています。（協議会案件5件）
- ・会議は、原則公開で行っています。（人事案件等非公開の場合あり。）

## 2 教育委員会会議以外の教育委員の活動状況

### ○意見交換会・懇談会

- 平成27年 4月 総合教育会議  
平成27年 6月 総合教育会議  
中学校区教育ミーティング（南浜，中之口）
- 平成27年 7月 区教育ミーティング（中央区，江南区）  
中学校区教育ミーティング（東新潟，濁川，赤塚，坂井輪，鳥屋野，新津第一，大形）
- 平成27年 8月 区教育ミーティング（北区，東区，秋葉区，南区）  
中学校区教育ミーティング（木崎）
- 平成27年 9月 区教育ミーティング（西区，西蒲区）  
中学校区教育ミーティング（石山，曾野木）
- 平成27年10月 区教育ミーティング（中央区）  
中学校区教育ミーティング（藤見，葛塚）
- 平成27年11月 区教育ミーティング（西区）  
中学校区教育ミーティング（宮浦，内野，新津第二，白井，西川，白南，白新，関屋，中野小屋）
- 平成27年12月 区教育ミーティング（東区，南区）  
中学校区教育ミーティング（両川）
- 平成28年 1月 小中学校PTA連合会との懇談会  
区教育ミーティング（北区，江南区，秋葉区，西蒲区）
- 平成28年 2月 総合教育会議

- ・ 教育委員会と地域との連携強化，開かれた教育委員会を目指し，各区の自治協議会委員と区教育ミーティングを年2回行いました。また，各区3中学校区で中学校区教育ミーティングを行いました。
- ・ 平成27年4月の地教行法改正により必置とされた総合教育会議を年3回開催し，市長と教育委員会が教育施策の方向性を共有し，相互連携して執行にあたるため，両者が協議・調整を行いました。第2回会議において，新潟市教育の大綱（5ページ）が策定されました。

### ○市内視察

- 平成27年 6月 アグリパーク（教育施設）
- 平成27年 7月 江南小学校，亀田西小学校，升潟小学校（地域連携事業）
- 平成27年 9月 根岸小学校，立仏小学校，矢代田小学校，日和山小学校，両川中学校，鎧郷小学校（地域連携事業）
- 平成27年10月 木戸中学校，味方中学校（マイスター公開授業）
- 平成27年11月 新潟柳都中学校（地域連携事業），鳥屋野小学校（マイスター公開授業），新潟県立環境と人間のふれあい館（教育施設）
- 平成27年12月 和納小学校（地域連携事業），潟東南小学校，葛塚中学校（マイスター公開講座）
- 平成28年 1月 鏡淵小学校（地域連携事業）

17カ所の学校の視察を行い，実際の教育現場の状況を把握するようにしています。  
また，視察の際は，教職員等と意見交換を行うなど，情報交換に努めています。

### ○行政視察（県外視察）

平成27年9月 埼玉県さいたま市

- ・さいたま市立与野南中学校（さいたま市教育課程研究指定校）

教職員の協働性を育みながら授業力を向上し、生徒のやる気・自信を高め、学習への満足感や達成感が味わえるシステムを構築・実施している。

・先進地の教育行政を参考にして、新潟市の教育行政に役立てるため、1年に一度、県外の行政視察を行っています。

・さいたま市教育委員会の先進的な取組である、教科を超えて交流できる授業力向上システムの実施状況を視察しました。

### ○指定都市教育委員・教育長協議会・他団体関係

平成27年5月 関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会・研修会

平成27年6月 第1回指定都市教育委員・教育長協議会

平成27年10月 新潟県都市教育長協議会 秋季定期総会

平成27年11月 都道府県・指定都市新任教育委員研究協議会

平成28年1月 第2回指定都市教育委員・教育長協議会

・指定都市教育委員・教育長協議会、新潟県都市教育長協議会に教育長が参加している他、その他連合会の研修等に教育委員も参加し、他指定都市や他市町村の教育委員とも積極的に情報交換をおこなっています。

### ○学校周年事業・卒業式等への教育委員の出席状況

平成27年7月 開校記念式典（日和山小学校）

平成27年10月 創立40周年記念式典（白根第一中学校，中之口西小学校，葛塚東小学校）

創立100周年記念式典（沼垂幼稚園），創立140周年記念式典（松野尾小学校）

閉校記念式典（潟東西小学校，潟東南小学校）

平成27年11月 創立140周年記念式典（越前小学校），閉校記念式典（潟東東小学校）

平成27年12月 創立40周年記念式典（西幼稚園）

平成28年3月 卒業式（万代高等学校，明鏡高等学校，高志中等教育学校，東特別支援学校，西特別支援学校）

### ○その他の出席

成人の日のつどい，小・中学校教員採用選考検査確認，市立学校園長全体研修会，教育フォーラム，市民フォーラム，市民大学入学式等

# 新潟市 教育の大綱

## 1 目指す子どもの姿・市民の姿

- ◎学力・体力に自信をもち、世界と共に生きる心豊かな子ども
- ◎生涯を通じて学び育つ、創造力と人間力あふれる新潟市民

## 2 取組の方針

### —学・社・民の融合による教育の推進—

新潟市と新潟市教育委員会は、目指す子どもの姿、市民の姿の実現に向け、子どもは社会の宝であり、人材は地域の大切な財産であるとの基本的な考えのもと、連携して「子どもたちの育ち」と「市民の生涯にわたる学び」を支えるため、互いのもつ情報・知識の共有や資源の有効活用などを図りながら、学・社・民の融合による「人づくり」「地域づくり」「学校づくり」に次の3つの柱で総合的に取り組めます。

## 3 取組の柱

- 自分の力に自信をもち心豊かな子どもを育む学校教育を推進します。
- 創造力と人間力を高める生涯学習を推進します。
- 自立し開かれた学びを支援します。

## 4 対象とする期間

平成27年度から平成31年度

平成27年6月8日

新潟市長



### 3 平成 27 年度の主な取組と成果

教育ビジョン後期実施計画の計画期間終了に伴い、平成 27 年度から 31 年度までの 5 か年を期間とした第 3 期実施計画を策定しました。平成 27 年度は、この計画に盛り込まれた施策を実施し、「学・社・民の融合による教育の推進」に引き続き取り組みました。

教育委員会の主な取組と成果は、次のとおりです。

#### ① 教育ミーティングの本格実施

教育委員が区の特性や教育現場の実情を把握し、市全体の教育に活かすため、教育委員 2 人 1 組で 2 つの区を担当しました。

区担当教育委員の活動として、教育情報を地域に発信するとともに、地域の実情を把握するため、各区の自治協議会と意見交換を行う区教育ミーティングを各区で 2 回実施しました。

また、中学校区内のコミュニティ協議会、保護者等と意見交換を行う中学校区教育ミーティングを実施し、その中学校区内の教育の実情や取組などを共有し、地域と学校の連携を深め、地域全体で子どもを育てる機運の醸成を図りました。

#### ② 学校適正配置の推進

子どもたちのより良い教育環境の確保を目指して策定された「学校適正配置基本方針」に基づき、複式学級や教室の不足が見込まれる緊急性の高い地域で「地域検討会」が設立されて協議を開始しています。

平成 29 年 4 月に満日小学校を阿賀小学校に編入すること、平成 30 年 4 月に太田小学校を葛塚東小学校に編入することを正式決定しました。

また、学校存続の要望のあった学校区のコミュニティ協議会と、情報交換等を行い、今後の学校のあり方について検討を継続しています。

#### ③ 一貫教育の検討

新潟市にふさわしい一貫教育について検討するため、新潟市一貫教育推進協議会を発足させました。この会には、私立の幼稚園や公私立の保育園の各代表も参加し、就学前から義務教育終了までの一貫した教育について、全市的な視野に立って協議しています。

また、下部組織として小中一貫教育部会と幼・保・小連携部会を設置し、それぞれの接続期を中心に、接続カリキュラムなどの作成に向けた課題検討を行いました。

#### ④ 基礎・基本を身につける教育の推進

本市独自の単元評価問題の学校向け Web 配信を継続し、その結果や分析から、単元別の基礎的・基本的な知識・技能の習得状況を把握することで、



授業改善に役立てました。

また、放課後の時間を活用した学習支援環境を整備し、主体的に学ぶ意欲・態度を育成するとともに、大学生などの学習支援ボランティアを引き続き各校に配置するなど、児童生徒一人一人の学力実態の的確な把握と、きめ細かな指導に努めました。

#### ⑤ 地域と学校パートナーシップ事業の充実

学・社・民の融合による教育を推進する取組として、「地域と学校パートナーシップ事業」を引き続き実施しました。事業に伴う、地域教育コーディネーターは273名、学校支援ボランティアの活動機会は延べ51,718回、延べボランティア数は258,822人となり、学校を中心とした地域コミュニティや地域の教育力の一層の向上が図られました。

また「地域と学校ウェルカム参観日」を市内16校で開催し、教育活動の公開、学校職員や参加者同士の交流を深めることで事業の周知と推進を図りました。

#### ⑥ 農業体験学習の推進

学校の授業と農業体験を結びつけた「アグリ・スタディ・プログラム」を活用し、いくとびあ食花、アグリパーク、学校教育田などの教育ファームにおける農業体験学習を引き続き推進しました。この取組は市内すべての学校で行われており、小学校78校、中学校11校がアグリパークを利用しました。

また、農業体験学習がさらに実感の伴った確かな学びとなるよう、アグリ・スタディ・プログラム評価サポート委員会を3回開催しました。アグリパークの学習活動を参観し、改善すべき点を明確にして、12月に改訂版を発行しました。

#### ⑦ 第31期新潟市社会教育委員会議建議について

第31期社会教育委員会議では、平成26年度から2か年にわたり、本市の今後の生涯学習施策の方向性として「新潟市の生涯学習のあるべき姿」について審議してきました。

本会議と小委員会を合わせて26回の審議を経て、平成28年3月に「新潟市の生涯学習のあるべき姿『ともに学び、育ち、創る』～ゆたかな新潟をめざして～」を建議し、教育長に提出しました。

建議には、新潟市教育ビジョンの生涯学習に関する施策を推進するため、「学・社・民の融合による人づくり、地域づくり」と「学習成果を生かす循環型生涯学習の推進」を基本方針に据え、「学習支援」「活動支援」「ネットワーク支援」「環境支援」を柱に、学習成果が地域に生かされるなど、学びが循環する生涯学習社会の振興に向けた様々な施策が提案されています。

建議に基づき、施策の推進と進行管理に努め、今後も「学・社・民の融合」による地域人材の育成と豊かな地域づくりに資する生涯学習施策に取り組んでいきます。

#### ⑧ クロスパル開館 10 周年記念講演会（教育フォーラム）の実施

「クロスパルにいがた」開館 10 周年を記念し、生涯学習の一層の振興を図ることを目的に記念講演会を実施しました。

冒頭、10 周年の歩みを映像で振り返り、その後、クロスパル利用団体を代表し、合唱サークルが素晴らしい歌声を披露しました。

講演会では、元NHKアナウンサーの山根基世さんを講師に迎え、退職後に取り組んできた子どものことばを育む活動を例に、相手の言葉を聞き、心を理解することの大切さや、子どもの話す力を伸ばすためには、地域での触れ合いが大切なことなどについてお話しいただきました。

市長とのトークタイムでは、「ともに学び、育ち、創る～豊かな新潟を目指して」をテーマに、子どもが大人と空間を共にし、大人の振舞を見て成長することの有益性などについて意見を交換し、人づくりと地域のかかわりについて認識を深める機会となりました。

#### ⑨ コミュニティ・コーディネーター育成講座の実施

地域課題の解決に必要な事業や地域のつなぎ役となるコミュニティ・コーディネーターの育成講座に全区で取り組み、延べ 211 人が参加しました。講座参加者から実践活動を行うグループが結成され、地域課題解決に向けた取組みを進め活動しています。また次年度においては、民間企業やNPO団体等とも連携しながら、若い世代を対象とした題材を取り上げ、新たな人材の育成にも取り組んでいきます。

#### ⑩ 第二次新潟市子ども読書活動推進計画による読書活動の推進

平成 27 年 3 月に策定した第二次計画（平成 27～31 年度）に基づき、図書館をはじめ、家庭、保育園・幼稚園、学校、地域において、子どもの読書環境の整備を進めました。

ブックスタート事業や学校図書館の充実に努めたほか、新たな取組として、家族で一緒に読書を楽しむ「うちどく（家読）」の推進、子育て世代の図書館利用を促す「赤ちゃんタイム」の実施館拡大、学校図書館をより活用する学校図書館活用推進校の指定、特別支援学校の読書環境整備検討会の設置、図書館ホームページ内の「キッズページ」開設など、読書活動を推進するためにさまざまな取組を行いました。

## II 新潟市教育ビジョンの施策評価について

新潟市教育ビジョンの平成27年度の実施状況について、有識者の知見を活用した評価を以下に示します。

### 1 平成27年度施策評価一覧

全施策の平均 4.23 (NEXT&NEWの平均 4.25)

○評価分布(評価対象51施策)

- ・目標を上回って達成…17.6%
- ・目標を概ね達成…72.5%
- ・目標をもう少しで達成…9.8%
- ・目標を下回った…0.0%
- ・目標を大きく下回った…0.0%

凡例  
 目標を上回って達成 … 5  
 目標を概ね達成 … 4  
 目標をもう少しで達成 … 3  
 目標を下回った … 2  
 目標を大きく下回った … 1

基本施策(13施策)	施策(54施策)		H27施策評価	
	網掛…[NEXT]&[NEW]に該当する施策	☆…説明に取り上げる施策	(後期進捗)	
1 確かな学力の向上	1-1(1)	社会の変化や新たな課題に対応できる教育の推進 ☆	4.3	4.0
	1-1(2)	学び続ける資質・能力を育むキャリア教育の推進	4.3	
	1-1(3)	基礎・基本を身に付ける教育の推進 ☆	4.0	
	1-1(4)	アグリ・スタディ・プログラムの推進 ☆	4.0	
	1-1(5)	学習習慣の定着	4.0	
	1-1(6)	読書活動の推進と新聞活用の充実 ☆	3.5	
2 豊かな心と健やかな体の育成	2-1(1)	いのちの教育・心の教育の推進	4.0	4.2
	2-1(2)	一人一人の成長を促す生徒指導の推進 ☆	4.0	
	2-1(3)	体験活動・ボランティア活動の充実	4.0	
	2-1(4)	文化・芸術活動体験の推進	5.0	
	2-1(5)	体力づくりの推進	3.7	
	2-1(6)	健康づくりの推進	4.0	
	2-1(7)	食育の推進	4.6	
	2-1(8)	青少年の健全育成の推進	4.2	
3 創造性に富み、世界と共に生きる力の育成	3-1(1)	地域学習の充実	5.0	4.2
	3-1(2)	外国語教育・国際理解教育の充実 ☆	4.0	
	3-1(3)	情報教育の充実とICTを活用した教育の取組 ☆	3.7	
	3-1(4)	主体的な取組を促す環境教育の推進	4.3	
	3-1(5)	海外帰国・外国人児童生徒への教育の推進 ☆	4.0	
4 共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの推進	4-1(1)	子ども一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育の推進 ☆	5.0	5.0
	4-1(2)	特別支援教育のサポート体制の推進	5.0	
	4-1(3)	早期からの就学相談・支援の充実 ☆	5.0	
5 校種間・学校間連携を活かした特色ある学校・園づくり	5-1(1)	新潟市にふさわしい小中一貫した教育の取組 ☆	4.0	4.5
	5-1(2)	幼児教育の充実と幼保小連携の推進 ☆	5.0	
6 人権を守り共に支え合う社会の推進	6-1(1)	人権教育、同和教育の推進、男女平等教育の推進	3.8	4.4
	6-1(2)	交流・体験活動の推進	5.0	
7 家庭教育の充実と子育て支援	7-1(1)	家庭教育充実への支援	4.0	4.3
	7-1(2)	子育て支援の充実	4.5	
8 生涯を通じて学び育つ学習機会の充実	8-1(1)	主体的な学習を支えるシステムづくり	4.0	4.7
	8-1(2)	学び育つ各世代への支援 ☆	5.0	
	8-1(3)	地域における生涯学習活動への支援	5.0	
9 地域と学校・社会教育施設が協働する教育の推進	9-1(1)	地域と共に歩む学校づくりの推進 ☆	4.5	4.3
	9-1(2)	広報広聴活動の推進	4.0	
	9-1(3)	学校・地域・NPO等の協働の推進	4.5	
	9-1(4)	高等教育機関及び企業との連携推進 ☆	4.7	
	9-1(5)	子ども・保護者・地域住民の学校運営への参画	4.0	
	9-1(6)	市民の生涯学習施設運営への参画	4.0	
10 学びのセーフティネットの構築に向けた取組の推進	10-1(1)	防災・安全教育の充実 ☆	4.0	4.0
	10-1(2)	保護者や地域と連携した安心な学校づくりの推進	4.0	
	10-1(3)	安全な学校施設	4.0	
	10-1(4)	学びを支援する体制の整備と充実 ☆	4.0	
11 学校教育・生涯学習環境の基盤整備	11-1(1)	効果的な指導を支援する施設設備の充実 ☆	4.0	4.0
	11-1(2)	コミュニティの拠点としての学校整備	4.0	
	11-1(3)	学校施設の整備	4.0	
	11-1(4)	生涯学習施設を核とした学習環境の整備	4.0	
12 市民に信頼される教育関係職員の育成	12-1(1)	教育関係職員の研修プログラムの充実 ☆	4.3	4.1
	12-1(2)	教職員への支援体制の充実	3.7	
	12-1(3)	信頼される教職員の採用・登用・配置	4.3	
	12-1(4)	教育関係職員の人事管理の適正化	4.0	
13 ニーズと課題に応える教育行政の創造	13-1(1)	新潟らしい教育改革の推進 ☆	4.0	4.0
	13-1(2)	効果的・効率的な執行体制の整備		
	13-1(3)	教育情報の収集と発信	4.0	
	13-1(4)	学校適正配置		
	13-1(5)	教育施策の管理と適切な評価	(5.0)	

## 2 主な施策・事業の評価状況

「NEXT」&「NEW」に該当する施策を取り上げています。

### 1 確かな学力の向上

#### 1-（1） 社会の変化や新たな課題に対応できる教育の推進

主な事業・持続可能な開発のための教育(ESD)推進事業  
・「アクティブ・ラーニング」による教育活動の推進

H27施策評価
4.3

#### 【NEXT5】

○確かな学力・豊かな心・健やかな身体を育む教育を進めます。

#### ●施策の目標

指標1	ESDを自校の教育活動に位置付けている学校の割合(%)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
進捗状況	-	20.0	50.0				
指標1	「アクティブ・ラーニング」を実施した学校の割合(%)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
進捗状況	-	100.0	100.0				
指標3	放課後の学習支援をする中学校(校)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
進捗状況	-	56	56				
指標4	環境教育に関する実践的な取組を広報する(回)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
進捗状況	-	1.0	1.0				
指標5	環境教育事業の実施						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	/
進捗状況	-	実施	実施				

□ほとんどの学校が、「アクティブ・ラーニング」を取り入れた教育活動を実施した。

・指導主事が学校訪問を通じて「アクティブ・ラーニング」による学びの質や深まりを重視する授業を推進するよう働き掛けてきた結果、教職員一人一人に「アクティブ・ラーニング」を取り入れた教育活動実施への意識が高まってきた。

・数学28名、英語40名の学習支援員を選考・登録し、市内56中学校全校に配置した。生徒が熱心に学習し、学習意欲を高めている様子が多く見られた。

#### 1-（3） 基礎・基本を身に付ける教育の推進

主な事業・学力実態調査 ・学習支援員派遣事業  
・学力定着支援事業 ・理科大好きプロジェクト  
・アフタースクール学習支援事業

H27施策評価
4.0

#### 【NEXT5】

○確かな学力・豊かな心・健やかな身体を育む教育を進めます。

#### ●施策の目標

指標1	全国学力調査B問題(小6・国語)で全国平均を上回った児童の割合(%)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
進捗状況	61.6	61.7	61.9	62.0			
指標2	全国学力調査B問題(小6・算数)で全国平均を上回った児童の割合(%)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3
進捗状況	59.5	59.7	59.9	60.0			
指標3	全国学力調査B問題(中3・国語)で全国平均を上回った児童の割合(%)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
進捗状況	53.1	53.2	53.4	53.5			
指標4	全国学力調査B問題(中3・数学)で全国平均を上回った児童の割合(%)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	2
進捗状況	61.0	61.2	61.3	61.5			
指標5	児童質問紙「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか」で、肯定的な回答をした児童(小6)の割合(%)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
進捗状況	83.1	84.0	84.5	85.0			
指標6	児童質問紙「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」で、肯定的な回答をした児童(小6)の割合(%)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
進捗状況	69.8	70.5	71.0	72.0			
指標7	生徒質問紙「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか」で、肯定的な回答をした生徒(中3)の割合(%)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
進捗状況	79.1	80.0	80.5	81.0			
指標8	生徒質問紙「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」で、肯定的な回答をした生徒(中3)の割合(%)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
進捗状況	69.0	70.0	71.0	72.0			

□継続した授業改善の取組により、学力調査で、多くの児童生徒が全国平均を上回った。

・小中学校の国語、算数、数学のAB問題及び小学校理科において、全国学力・学習状況調査の全国平均正答率を上回り、児童生徒の学力は確実に向上した。

・教員の指導力向上を図るため、階層別の研修会や全国学力・学習状況調査の結果を基にした授業改善研修会の実施、指導主事学校訪問で授業改善について具体的な指導を行った結果、ほとんどの教科で学力が向上した。

・算数・数学の単元評価問題、解説、補充問題の配信を継続してきたことから、特に数学の学力が向上した。

・学校支援ボランティアでは、活動に携わる学生数は137名となっており、学校からは教育活動への高い貢献、学生からは、教育実習では得られない貴重な経験が得られたという声が寄せられた。

・理科支援員を40校に配置し、理科大好きシンポジウムと科学教室を総合教育センターにて開催した。

1-(4) アグリ・スタディ・プログラムの推進

主な事業 「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習の推進

H27施策評価
4.0

【NEXT5】

○確かな学力・豊かな心・健やかな身体を育む教育を進めます。

●施策の目標

指標1	「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習を実施している小学校の割合(%)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
進捗状況		100.0					
指標2	アグリ・スタディ・プログラム評価・サポート委員会によるプログラムの検証率(%)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	-	25.0	50.0	75.0	100.0	100.0	
進捗状況		25.0					

□すべての小学校が「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習を実施した。

・すべての小学校が、教育ファーム(アグリパークや学校田等)を活用して、「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習を実施した。

・7月に評価・サポート委員会、年度末に「アグリ・スタディ・プログラム」推進委員による情報交換会を実施し、学校側、アグリパーク側で改善すべき点を明確にした。

1-(6) 読書活動の推進と新聞活用の充実

主な事業 ・学校図書館活用推進校事業 ・学校図書館支援センター事業  
・学校図書館支援事業 ・新聞活用の推進

H27施策評価
3.5

【NEXT5】

○子どもの読書活動を推進するとともに、市民が自ら課題解決を図るための読書環境を充実していきます。

●施策の目標

指標1	学校図書館を活用した授業を「月に数回程度」行った小学校の割合(%)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	77.2	78.0	79.0	80.0	81.0	82.0	
進捗状況		75.6					
指標2	学校図書館を活用した授業を「学期に数回程度」行った中学校の割合(%)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標	55.1	56.0	57.0	58.0	59.0	60.0	
進捗状況		62.1					
指標3	中学生の不読率(%)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	12.1	12.0	11.5	11.0	10.5	10.0	
進捗状況		12.3					
指標4	ほぼ毎日新聞を読む中学生の割合が、全国平均を上回る(ポイント)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	1
指標目標	2.7	2.8	2.8				
進捗状況		1.0					

□多くの小・中学校で、学校図書館を活用した授業を実施した。

・小学校21校、中学校9校で「学校図書館活用推進校」事業を実施し、学校図書館を活用した探求型学習の取組を行った。

・4つの学校図書館支援センターが、すべての市立学校を訪問し、学校図書館の業務の相談に応じたり、司書研修を行ったりして、学校司書のスキルアップと業務の平準化を進めた。

・「新潟市新聞活用推進事業」に取り組み小・中学校指定校(8校)に新聞配備をし、新聞活用教育の実践を進めた。

2 豊かな心と健やかな体の育成

2-(2) 一人一人の成長を促す生徒指導の推進

主な事業 ・いじめ対策等生徒指導推進事業  
・教育相談ネットワーク事業  
・カウンセラー等活用事業

H27施策評価
4.0

【NEXT5】

○確かな学力・豊かな心・健やかな身体を育む教育を進めます。

●施策の目標

指標1	新潟市生活・学習意識調査の「自律性」「社会性」にかかわる質問項目のうち、肯定的な回答が前年度の数値を上回った項目の割合(%)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標	61.1	66.7	66.7				
進捗状況		83.3					
指標2	小学校 いじめ解消率(%)※「解消率」…「解消」と「一定の解消」を合わせたものの割合						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	96.2	100.0	100.0			100.0	
進捗状況		95.9					
指標3	中学校 いじめ解消率(%)※「解消率」…「解消」と「一定の解消」を合わせたものの割合						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	94.5	100.0	100.0			100.0	
進捗状況		98.1					
指標4	小学校 不登校(30日以上欠席)発生率(%)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3
指標目標	0.4	0.4	0.4				
進捗状況		0.4					
指標5	中学校 不登校(30日以上欠席)発生率(%)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	2.7	2.7	2.6				
進捗状況		2.6					

□不登校(30日以上欠席)発生率は、小学校が若干増加し、中学校は若干減少した。

・管理職、主任層を対象とした「自律性と社会性をはぐくむ生徒指導」説明会を実施し、新潟市が推進する生徒指導の考え方や体制・組織等の周知を図った。

・いじめ防止市民連絡協議会、いじめ防止対策等専門委員会を実施し、未然防止等に向けた取組や具体的な事案への対応の検討等を行った結果、問題の解消を図ることができた。

・区教育支援センター、教育相談センター、訪問教育相談員、区教育相談室などの関係機関で不登校に関する情報を共有し、不登校の未然防止に向けた意識を高めた。

### 3 創造性に富み、世界と共に生きる力の育成

#### 3-(2) 外国語教育・国際理解教育の充実

主な事業 ・外国語指導助手(ALT)配置事業  
 ・国際交流事業  
 ・外国語教育支援事業

H27施策評価
4.0

#### 【NEW5】

○世界とともに生き創造性を発揮する新潟の子どもや市民の育成を目指し、コミュニケーション能力向上とICT活用への取組を進めます。

#### ●施策の目標

指標1	新潟市生活・学習意識調査(小6)で「外国語活動の勉強が好き」と回答した児童の割合(%)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	74.5	75.0	75.0				
進捗状況		73.8					
指標2	新潟市生活・学習意識調査(中3)で「外国語活動の勉強が好き」と回答した生徒の割合(%)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	56.0	56.5	56.5				
進捗状況		54.6					

「外国語活動の勉強が好き」と回答した児童生徒数が若干減少した。

・すべての市立学校にALTを配置するとともに、ALTへの研修会を計画的に実施し、外国語活動及び外国語の授業の充実を図った。

・海外からの児童生徒の受け入れ、新潟市の児童生徒の海外派遣等の国際交流推進事業を通して、児童生徒の異文化理解が深まった。

・外国語教育推進リーダー研修受講者が、各校の校内研修を推進したり、地区開催の研修会の講師を務めたりして、教員の英語指導力の向上に貢献した。

#### 3-(3) 情報教育の充実とICTを活用した教育の取組

主な事業 ・タブレット等ICT活用研修(教職員研修)

H27施策評価
3.7

#### 【NEW5】

○世界とともに生き創造性を発揮する新潟の子どもや市民の育成を目指し、コミュニケーション能力向上とICT活用への取組を進めます。

#### ●施策の目標

指標1	コンピュータ等(タブレットPCを含む)の情報通信技術を活用して、子どもが学び合う協働学習や課題解決型の学習指導を実施した小学校教職員の割合(%)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3
指標目標	65.7	66.6	66.6			70.0	
進捗状況		60.3					
指標2	コンピュータ等(タブレットPCを含む)の情報通信技術を活用して、子どもが学び合う協働学習や課題解決型の学習指導を実施した中学校教職員の割合(%)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	50.0	51.0	51.0			55.0	
進捗状況		50.0					
指標3	「アクティブ・ラーニング」の実施した学校の割合(%)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	100.0	100.0	100.0				
進捗状況		95.0					

小・中学校の教職員の半数以上が情報通信技術を活用した協働学習や課題解決型の学習指導を実施した。

・教職員を対象にタブレット等ICT活用研修を開催した結果、ICTを積極的に活用した授業づくりが見られるようになってきた。

・タブレット端末活用事例、情報モラルの指導例等の資料を各校に配付し、その活用を促した。

#### 3-(5) 海外帰国・外国人児童生徒への教育の推進

主な事業 ・日本語指導協力者派遣事業  
 ・外国人児童生徒への支援体制の整備

H27施策評価
4.0

#### 【NEW5】

○世界とともに生き創造性を発揮する新潟の子どもや市民の育成を目指し、コミュニケーション能力向上とICT活用への取組を進めます。

#### ●施策の目標

指標1	日本語指導協力者の指導により、日常会話ができるようになった子どもの割合(%)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	87.5	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	
進捗状況		81.8					

海外帰国・外国人児童生徒の8割以上が日本語の日常会話ができるようになった。

・日本語指導協力者をのべ489回、母語のわかる支援員をのべ15回派遣し、指導した結果、海外帰国・外国人児童生徒の日本語の上達と学校生活の円滑な適応につながった。



## 4 共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの推進

### 4-（1）子ども一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育の推進

主な事業・インクルーシブ教育システム構築の推進事業

H27施策評価
5.0

#### 【NEW5】

○共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの構築に向けた取組を始めます。

#### ●施策の目標

指標1	各年度内に特別支援教育に関する公的研修を受講した教員(幼・小・中・高)(人)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標	1,200	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	
進捗状況		1,616					

特別支援教育に関する公的研修を1,600名以上の教員が受講した。

・「特別支援教育管理職研修」「合理的配慮セミナー」等を年間を通して実施した。外部講師を招聘しての最先端の内容を企画したことで、多くの受講者から有意義な研修だったとの声が寄せられた。

### 4-（3）早期からの就学相談・支援の充実

主な事業・早期からの就学支援の推進

H27施策評価
5.0

#### 【NEW5】

○共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの構築に向けた取組を始めます。

#### ●施策の目標

指標1	入学支援ファイルの活用件数(年度ごとの数)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標	250	300	350				
進捗状況		331	0				

小学校新入学生の「入学支援ファイル」の活用が広まってきた。

・就学前の支援情報を学校に引き継ぐための連携ツール「入学支援ファイル」の提出数は、331名となり、活用が広まってきた。

## 5 校種間・学校間連携を活かした特色ある学校・園づくり

### 5-（1）新潟市にふさわしい小中一貫した教育の取組

主な事業・小中一貫教育パイロット事業  
・学校間連携推進事業

H27施策評価
4.0

#### 【NEW5】

○未来の新潟を担う子どもたちの生きる力の育成のため、校種間の連携をさらに進めます。

#### ●施策の目標

指標1	小中一貫教育推進協議会						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	/
指標目標	-	発足	3				
進捗状況		発足					
指標2	新規パイロット事業実施中学校数(延べ数)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	/
指標目標	-	-	4	8	12	16	
進捗状況		-					
指標3	学び方等、共通の取組を設定した中学校(校区数)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	-	56	56				
進捗状況		55					

新潟市のすべての子どもたちに対し、民間も含めて就学前から義務教育終了までの一貫した教育への取組を進める体制ができた。

・一貫教育推進協議会とその構成組織である小中一貫教育部会と幼・保・小連携部会が設置され、新潟市の子どもたちに対して民間も含めて就学前から義務教育終了までの一貫した取組を進める体制ができた。

・幼・保・小連携部会において、接続カリキュラムづくりに向けた現状と課題を共有した。

・すべての中学校区において、小中連携推進のための連絡協議会等を開催し、共通の課題などについて協議し、連携を深めた。

5-(2) 幼児教育の充実と幼保小連携の推進

主な事業 ・幼保小連携推進事業  
 ・幼保小合同研修会

H27施策評価
5.0

【NEW5】

○未来の新潟を担う子どもたちの生きる力の育成のため、校種間の連携をさらに進めます。

●施策の目標

指標1	幼稚園・保育園との連携の充実を図り、小学校への円滑な接続を図るための教育懇談会を実施した小学校の割合(%)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
進捗状況	-	10.0	95.0			100.0	
指標2	接続を見通した教育課程の編成・実施が行われている小学校の割合(%)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
進捗状況	-	10.0	40.0			70.0	
指標3	接続を見通した教育課程の編成・実施が行われている市立幼稚園の割合(%)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
進捗状況	-	27.3	90.0			100.0	
指標4	隣接する小学校区における、幼稚園、保育園、小学校等の職員を交えた研究保育を年間複数回実施した市立幼稚園の割合(%)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
進捗状況	-	18.1	63.6			90.9	

□ほとんどの小学校が、幼稚園・保育園の連携を図るための教育懇談会を開催した。

・幼・保・小の円滑な接続・連携のあり方についての研修会を実施することで、関係者の連携推進に向けた意識を高めることができた。

・幼保小合同研修会において、公私の幼・保と小学校の接続カリキュラムの編成についての現状と課題について協議した。

8 生涯を通じて学び育つ学習機会の充実

8-(2) 学び育つ各世代への支援

主な事業 ・にいがた市民大学開設事業 ・現代的課題を学ぶ公民館事業  
 ・学習成果を発表する場の提供 ・子どもの読書環境の整備  
 ・子どもが読書に親しむ機会の充実  
 ・仕事やくらしの課題解決のための情報提供事業

H27施策評価
5.0

【NEXT5】

○子育てや各世代の学びに対する支援に努め、地域の教育力の活用を推進します。

●施策の目標

指標1	にいがた市民大学の受講率(%)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
進捗状況	84.5	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	
指標2	現代的課題を学ぶ事業の実施						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	/
進捗状況	-	実施	実施				
指標3	文化祭・芸能祭等の実施						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	/
進捗状況	-	実施	実施				
指標4	児童書の貸出冊数(冊)12歳以下の子ども1人あたり						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
進捗状況	12.1	12.2	12.4	12.6	12.8	13.0	
指標5	レファレンス受付件数(件)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
進捗状況	69,600	72,000	72,800	73,500	74,200	75,000	

□市民の学習活動の場の確保に努めた。

・にいがた市民大学は、専門性の高い講座や時代の変化、市民の学習ニーズに対応した講座を合計5講座開設した。

・「第二次新潟市子ども読書活動推進計画」に基づき、記念講演会、ブックスタート事業、「赤ちゃんタイム」、図書館ホームページへのキッズページの新設等を実施したことにより、子どもを取り巻く読書環境の整備が進んだ。

・ビジネス関連事業では、関係団体と連携しながら、起業・経営相談会やビジネス支援セミナー、行政書士無料相談会などを開催し、くらしや仕事の課題解決支援に当たった。

9 地域と学校・社会教育施設が協働する教育の推進

9-(1) 地域と共に歩む学校づくりの推進

主な事業 ・地域と学校パートナーシップ事業  
 ・ふれあいスクール事業  
 ・公民館出前型事業

H27施策評価
4.5

【NEXT5】

○学・社・民の融合による教育を推進します。

●施策の目標

指標1	1校あたりの学校支援ボランティア(延べ人数)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
進捗状況	1,210	1,240	1,270	1,300	1,330	1,360	
指標2	ふれあいスクール週当たり開催(日数)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
進捗状況	1.93	2.00	2.10	2.20	2.30	2.50	
指標3	土曜プログラムモデル実施校数(校)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
進捗状況	-	4	4				
指標4	公民館出前型事業の実施校数(校)						H27評価
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
進捗状況	66	66	67				

□すべての市立学校に配置された地域教育コーディネーターが地域と共に歩む学校づくりを推進した。

・市立の全校に配置された地域教育コーディネーターの資質向上を図るため研修会を実施した。また、一般市民に事業趣旨の理解や参画意欲の醸成を図るため、地域と学校ウェルカム参観日を16校で実施した。

・ふれあいスクールの土曜日における体験活動や学習の機会提供のためのプログラムを開発し、「土曜プログラム集」としてまとめて、ふれあいスクール実施校に配付した。



9-(4) 高等教育機関及び企業との連携推進

主な事業・高等教育機関活用推進事業  
・図書館と教育機関・企業との連携・協力

H27施策評価
4.7

**【NEW5】**

○学校や公民館・図書館などにおいて、多様なニーズに応じた学習機会の充実を図るため、企業や民間団体と連携する取組を始めます。

●施策の目標

指標1	高等教育機関からの専門的な情報提供、指導等を受けている教育課題(課題)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	1	2	3				
進捗状況		2					
指標2	にいがた市民大学の受講率(%)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標	84.5	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	
進捗状況		122.5					
指標3	連携・協力の実施状況(連携事業数)(件)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標	9	9	9	9	9	9	
進捗状況		11					

**高等教育機関・企業等と連携・協力し、多様なニーズに応じた学習機会を提供した。**

・文部科学省の研究指定を受け、障がいのある生徒を対象に、効果的に能力・才能を伸ばすことができるよう、各教科・科目の授業改善に努めた。

・新潟大学附属図書館、県立図書館との配本ネットワーク「めぐるくん」を実施し、市民への幅広い資料提供に努めた。

10 学びのセーフティネットの構築に向けた取組の推進

10-(1) 防災・安全教育の充実

主な事業・「防災教育」学校・地域連携事業(ふるさと新潟防災教育推進事業)

H27施策評価
4.0

**【NEW5】**

○ニーズと課題に迅速に対応できる教育行政のシステムづくりと学びのセーフティネットの整備を進めます。

●施策の目標

指標1	「防災教育」学校・地域連携事業指定校数(校・累計)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	8	34	68	102	136		
進捗状況		34					

**「防災教育」学校・地域連携事業の34指定校で、小中学校及び地域と連携した自校化プログラムを作成した。**

・「防災教育」学校・地域連携事業の指定校(34校)において、地域と連携した自校化プログラムを作成した。また、地域と連携した防災の取組を報告書にまとめ、市内小中学校に配付した。

10-(4) 学びを支援する体制の整備と充実

主な事業・就学援助事業  
・奨学金貸付事業(高校～大学院)  
・社会人奨学金貸付事業

H27施策評価
4.0

**【NEW5】**

○ニーズと課題に迅速に対応できる教育行政のシステムづくりと学びのセーフティネットの整備を進めます。

●施策の目標

指標1	就学援助制度の保護者への周知率(%)小学校						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	100.0	100.0	100.0			100.0	
進捗状況		100.0					
指標2	就学援助制度の保護者への周知率(%)中学校						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	100.0	100.0	100.0			100.0	
進捗状況		100.0					
指標3	奨学生(高校～大学院)の採用率(%)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	100.0	100.0	100.0				
進捗状況		100.0					
指標4	奨学生(社会人)の採用率(%)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	100.0	100.0	100.0				
進捗状況		100.0					
指標5	ふれあいスクール週当たり開催(日数)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	1.9	2.00	2.10	2.20	2.30	2.50	
進捗状況		1.97					
指標6	土曜プログラムモデル実施校数(校)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	-	4	4				
進捗状況		4					
指標7	放課後の学習支援をする中学校(校)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	-	56	56				
進捗状況		56					

**就学援助事業、奨学金貸付事業を着実に実施し、保護者や採用者に対しての経済的負担の軽減を図った。**

・就学援助制度について、私立学校も含めすべての小・中学校の保護者に案内を配付し、認定者16,485名の保護者に対して、学用品費や給食費等の一部を援助し、経済的負担の軽減を図った。

・高等学校・大学等の進学者で奨学金を申請した94名のうち、88名が選考基準を満たして採用を決定した。そのうちの辞退者2名を除く86名に貸付を実施し、高等教育の機会均等を図った。

・社会人対象の奨学金を申請した2名に対し、採用を決定し、キャリアアップを目指す社会人学生に対して経済的支援を行った。

## 11 学校教育・生涯学習環境の基盤整備

### 11-1 効果的な指導を支援する施設設備の充実

主な事業 ・学校ICT環境整備事業  
・教育ネットワーク構築事業

H27施策評価

4.0

【NEW5】

○世界とともに生き創造性を発揮する新潟の子どもや市民の育成を目指し、コミュニケーション能力向上とICT活用への取組を進めます。

#### ●施策の目標

指標1	タブレット型コンピュータを整備した小・中学校の割合(%)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	5.0	34.0	68.0	→	100.0	100.0	
進捗状況		34.0					
指標2	教育ネットワークの構築						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	/
指標目標	-	調査・研究	調査・研究	計画策定	開発	稼働	
進捗状況		調査・研究					

学校内のコンピュータ教室用の端末等機器、校内LAN用コンピュータ、教職員用コンピュータの更新を計画通りに実施した。

・学校ICT環境整備事業の計画に基づき、端末等機器の更新を確実に実施した。

・教育ネットワーク構築についての調査・研究を実施し、システム等の構築に向けた今後の課題及び検討事項について明確にすることができた。

## 12 市民に信頼される教育関係職員の育成

### 12-1 教育関係職員の研修プログラムの充実

主な事業 ・教育関係職員の研修プログラムの一層の充実  
・学社民融合研修の推進

H27施策評価

4.3

【NEXT5】

○市民から信頼される学校・教育機関となるよう、人材の育成と職場の環境整備を進めます。

#### ●施策の目標

指標1	各研修講座における受講者の満足度と活用度(%)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標	80.0	80.0	85.0	→			
進捗状況		87.6					
指標2	マイスター養成塾修了者(人)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	102	102	108	→	114	→	
進捗状況		103					
指標3	学社民融合研修会の実施(回)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	7	7	7	→			
進捗状況		7					

研修プログラムの改善により、講座受講者の満足度が目標を上回った。

・受講者アンケートや懇談会などの意見を基に研修講座の新設・拡充に努めた結果、研修後の受講者満足度が87.6パーセントとなり、目標を大きく上回った。

・パートナーシップ事業研修会に学社民融合支援主事が参加して、公民館の取組の紹介等の情報交換をしたことにより、118校(70パーセント)の学校で、公民館と協働事業を実施した。

## 13 ニーズと課題に応える教育行政の創造

### 13-1 新潟らしい教育改革の推進

主な事業 ・区教育ミーティングの開催  
・中学校区教育ミーティングの開催

H27施策評価

4.0

【NEW5】

○ニーズと課題に迅速に対応できる教育行政のシステムづくりと学びのセーフティネットの整備を進めます。

#### ●施策の目標

指標1	区教育ミーティングの開催(回)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	16	16	16	→			
進捗状況		16					
指標2	中学校区教育ミーティングの実施回数(累計中学校区数)						H27評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	8	32	56	→			
進捗状況		32					

教育委員が担当区の区教育ミーティングや中学校区教育ミーティングに参加し、地域や中学校区の取組・課題を把握した。

・担当区の教育ミーティングの概要を教育委員全員で共有し、施策決定の場では地域の声を踏まえた検討が行われた。

・中学校区教育ミーティングでは、各中学校区の取組や課題について意見交換をし、「地域の子どもは地域で育てる」という意識の醸成を図ることができた。

### 3 教育ビジョン推進委員からの主な質問・意見・要望と教育委員会の対応

#### 施策1－(1) 「社会の変化や新たな課題に対応できる教育の推進」

○ 文部科学省も知識と思考力の双方をバランスよく育てていくことを強く押し出しているが、高校入試や高校大学接続ということを考えた場合、どうしても知識のほうにウエイトがかかるかと思う。その点について市教育委員会としては、どのような対応もしくは取組をしているのか。

⇒ 知識の確かな獲得は、子どもたちの主体的な学習活動を通じて、初めて成し遂げられると考えている。そういった意味で、子どもたちが自ら学ぶといったアクティブ・ラーニングを取り入れた授業を展開するように、各学校に対して指導している。また、高校入試については、近年、学校独自検査のなかで思考力や知識活用力を問う問題が導入されてきている。大学入試も同様の方向に向かっている。したがって、市教育委員会が、現在、推し進めているアクティブ・ラーニングを重視する事業展開は、時代に対応していると考えている。

#### 施策1－(4) 「アグリ・スタディ・プログラムの推進」

○ アグリパークの施設規模の関係で大規模校が利用しにくいこともあるかと思うが、その大規模校へはどのように対応しているのか。

⇒ 宿泊を伴わない場合は1回で大人数が利用可能。宿泊が伴う場合でも70人までは宿泊可能なので、一学年を複数回に分けて宿泊体験学習をするといった例が出てきている。これらの事例を大規模校にも紹介して今後の活用を奨励していきたい。

#### 施策1－(6) 「読書活動の推進と新聞活用の充実」

○ 「新潟市新聞活用推進事業」では、配備された新聞をどのように活用しているのか、また、新聞は複数紙が配備されているのか。

⇒ NIE推進校では、社会科の時間で「これからの食料生産」という単元を学習した後にTPPに関連した新聞記事を調べる、道徳の時間に新聞のコラムについて考えるといったように、新聞を使った授業を積極的に展開している。また、新聞は普通紙3紙を配備している。

#### 施策2－(2) 「一人一人の成長を促す生徒指導の推進」

○ 不登校は、複合的要因により発生する。中には児童生徒本人を取り巻く家庭環境等に課題を抱えていることが要因となっている場合もある。そのようなとき、SSW（スクールソーシャルワーカー）の活用は、課題解決に向けて大きな可能性を秘めている。市教育委員会では、SSWを始めとして関係機関との連携について、どのような取組を行っているのか。

⇒ 家庭環境の改善など、教職員だけではなかなか対応できない状況のとき、SSWの活用が有効であるので、今年度はSSWを1名増員し、全部で3名体制で事案に当たっている。また、市では、適応指導教室や訪問相談員のシステムが大変よく機能しているので、引き続き、活用を図っていくとともに、福祉関係の機関とも積極的に連携をしていきたい。

### 施策5－(1) 「新潟市にふさわしい小中一貫した教育の取組」

#### ○ 施策名の中の「新潟市にふさわしい」という語句についての具体的説明をお願いしたい。

⇒ 政令市という大きな市になったことにより、本市は、都市部から農村部まで、様々な地域の特色を内在するようになった。また、中学校区内の小中学校の配置状況も、1小1中から最大4小1中までの組み合わせがあり、それぞれの中学校区に特徴がある。「新潟市にふさわしい」とは、「これらの多様な特色や特徴を活かす」という意味である。

### 施策5－(2) 「幼児教育の充実と幼保小連携の推進」

#### ○ 指標1、指標2は共に、進捗状況評価が5.0となっており、幼・保の連携や小学校との円滑な接続を目指した取組の成果があがっているように見える。ただし、もともと両指標の目標数値がかなり低かったためこのような高い評価になったともいえる。平成27年度の指標の目標数値設定の経緯について、もう少し知りたい。

⇒ 両指標とも前年度にはない新しい指標であったので、目標数値を設定した時点ではあまり情報がなく、低めの設定となった。しかし、結果は、かなりのよい数値となった。これらの指標は、毎年、前年度の実績を踏まえながら、次年度の目標数値を設定していく形式なので、平成28年度以降は、より実態を踏まえた指標目標数値の設定をしていきたい。

### 施策9－(1) 「地域と共に歩む学校づくりの推進」

#### ○ 施策9-(1)「地域と共に歩む学校づくりの推進」は、今期教育ビジョンの基本的考え方である「学・社・民の融合による人づくり、地域づくり、学校づくり」につながる中心的な施策だと先ほど説明があった。この施策をもっとダイナミックに確実に有効性のあるものしていくためには、学社民融合支援主事と地域教育コーディネーターとの連携・役割がとても大きいと思うが、現状はどうなっているか。

⇒ 学・社・民の融合については、地域と学校パートナーシップ事業を中心に推進している。その事業において全学校に配置している地域教育コーディネーターと公民館の学社民融合支援主事、図書館職員が参加して、市全体での研修会を年2回実施している。また、区ごとに集まって、顔の見える関係づくりや研修計画の情報交換なども行っている。今後も両者及び関係機関の職員との連携を深める取組を充実させていきたい。

### 施策10－(1) 「防災・安全教育の充実」

#### ○ 各校の防災担当者と地域教育コーディネーターが、コミュニティ協議会などの地域と連携して「防災教育」の自校化プログラムを作成するのだと思うが、コミュニティ協議会と小学校とのつながりが強く、中学校とは少し距離があるように感じる。中学生は、日常的に校区内におり、体も大きく、力や判断力もあるので、ぜひ、その能力を活用してほしい。

⇒ 自校化プログラムは、中学校区単位で地域を巻き込んで作成している。したがって、防災訓練の際などは、中学生の力を活かした取組も実施されている。また、地域と学校パートナーシップ事業で、中学生が地域貢献活動として地域防災に参加している事例も増えてきている。着実に「防災教育」の自校化プログラムは根付いてきているととらえている。

### 施策12－(1) 「教育関係職員の研修プログラムの充実」

- 教育関係職員の研修プログラムが年々充実してきて、参加者の満足度も高い傾向にある。そして、さらに自分を高めようと、特別支援教育士のような民間研究団体が認定する資格の取得に挑戦する教育関係職員も出てきた。この資格取得については、時間的、費用的に個人負担が大変大きい。自治体によっては、認定に必要な研修を行政の研修プログラムの中に一部組み込んでいるところもある。市教育委員会としては、このような意欲のある教育関係職員へどのようなサポートを行っているのか。  
⇒ 特別支援教育に関する研修については、研修ニーズが非常に高く、総合教育センターで可能な限り、それに応えられるように研修講座を組んでいる。また、特別支援教育サポートセンターでは、通常、遠隔地で行われている資格取得のための研修が、新潟市内で行われる場合に、学校へのメール配信で周知を行っている。

### 施策12－(2) 「教職員への支援体制の充実」

- 先生方は、「読書活動の推進」「新聞活用の充実」「体力づくりの推進」「情報教育の充実とICTを活用した教育の取組」など、子どもに対して行うことがたくさんある。そうになると、教職員の多忙さの解消というのが大切になってくる。現場の先生方の健康が何よりも大事で、その上で新しい教育の充実もして行ってほしい。このあたりのバランスは難しいと思うが、市教育委員会で行っている多忙化解消の取組の現状を説明願いたい。  
⇒ 学力向上や新しい教育内容への取組、さらにはいじめ・不登校の対応など、現在の教職員には非常に大きな負担がかかっており、多忙化解消の取組は大変重要であると認識している。そこで、取組の一つとして、子どもと向き合う時間を週5時間確保するという指標を設定し、そのための業務のIT化、行事や諸会議の精選などに各学校から取り組んでもらった。平成22年度末に指標を達成した教職員は、約26パーセントだったが、現在では65.8パーセントまであがってきている。ただし、ここ数年間は、この数値周辺で推移している。さらなる向上のために、学年別ノー残業デー取得など、各学校で効果のあった取組を集約して、各校に情報提供し、多忙化解消に向けての「1校1取組」を進めているところである。

参考資料 新潟市教育ビジョン推進委員会平成27年度施策評価経過

No.	開催会議等	開催年月日	協議内容等
1	第29回推進委員会	平成27年 2月9日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度主要事業について</li> <li>教育ビジョン第3期実施計画について</li> </ul>
2	第31回推進委員会	平成27年 10月27日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度施策実施状況について(中間評価)</li> </ul>
3	第33回推進委員会	平成28年 6月2日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度施策評価について</li> </ul>

新潟市教育ビジョン推進委員会（第5期）委員名簿

任期：平成26年4月1日～平成28年3月31日

(50音順)

No.	氏名	所属
1	石坂 学	鳥屋野中学校長
2	岩田 すみ江	山田小学校長
3	大宮 一真	新潟市小中学校PTA連合会会長
4	高橋 文子	新潟県生涯学習協会事務局長
5	中村 恵子	新潟青陵大学看護福祉心理学部教授
6	松下 久美子	公募委員
7	宮藺 衛	新潟大学教育学部教授

新潟市教育ビジョン推進委員会（第6期）委員名簿

任期：平成28年4月1日～平成30年3月31日

(50音順)

No.	氏名	所属
1	小林 利花子	公募委員
2	高橋 恒彦	東新潟中学校長
3	高橋 文子	新潟県生涯学習協会事務局長
4	田中 一昭	新潟市小中学校PTA連合会副会長
5	中村 恵子	新潟青陵大学看護学部教授
6	畠山 典子	関屋小学校長
7	松井 賢二	新潟大学教育学部教授